

清流の国ぎふ芸術祭 第2回ぎふ美術展

2019年8月17日(土)～9月1日(日) 10:00～18:00
(8月17日は14:00開場、最終日は14:30まで)

セラミックパークMINO(多治見市東町4-2-5)

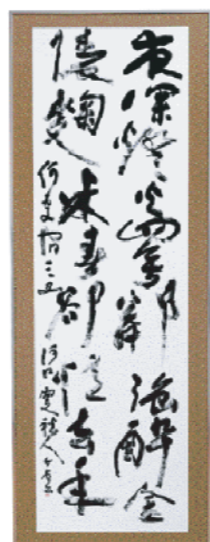
[主催] 岐阜県・岐阜県美術館・岐阜県現代陶芸美術館、(公財)岐阜県教育文化財団

清流の国ぎふ芸術祭「ぎふ美術展」は、幅広い年代の皆さまから作品を応募していただき、入賞・入選した作品を一堂に展示する美術展です。また、各分野の第一人者の審査員にご自身の作品を見ていただけるまたとない機会です。

皆さまの作品に取り組む情熱、独自の発想力や創造力をぜひ、試してみませんか。応募部門は日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、自由表現の7部門です。



うまれる。あふれだす。



書部門
『除夜』平田竹庵(本巣市)



写真部門
『五月晴れ』岩田忠勝(瑞穂市)

第1回ぎふ美術展 「ぎふ美術展賞」受賞作品

「第2回ぎふ美術展」作品募集!

「第2回ぎふ美術展」を次のとおり開催し、作品を募集します。

部門 日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・自由表現

応募規定

応募資格/制限ありません。どなたでも応募可能です。
応募点数/1部門につき1人1点
応募料/1点につき2,000円
※ただし、大学生及びこれに準ずる方は1,000円、高校生以下及び障がい者手帳をお持ちの方は無料です。
※4月1日(月)から7月17日(水)までの期間に振込またはクレジットカードにより納付してください。

応募締切 作品搬入日

東濃搬入/7月27日(土)～28日(日) セラミックパークMINO
岐阜搬入/7月18日(木)～21日(日) ぎふ清流文化プラザ
飛騨搬入/7月25日(木) 高山市民文化会館
※部門や重量等により搬入の日時・場所が異なります。

審査員

【日本画】 那波多目 功一(日本画家、日本芸術院会員)、本江 邦夫(美術評論家、多摩美術大学教授)
【洋画】 池口 史子(洋画家、日本芸術院会員)、奥谷 博(洋画家、日本芸術院会員)
【彫刻】 黒川 弘毅(彫刻家、武蔵野美術大学教授)、藪内 佐斗司(彫刻家、東京藝術大学大学院教授)
【工芸】 樋田 豊郎(東京都庭園美術館館長)、前田 昭博(陶芸家、重要無形文化財「白磁」保持者)
【書】 島谷 弘幸(九州国立博物館長)、高木 聖雨(書家、大東文化大学教授)
【写真】 石田 哲朗(東京都写真美術館学芸員)、小林 のりお(写真家、武蔵野美術大学教授)
【自由表現】 榎木 野衣(美術批評家、多摩美術大学教授)、島 敦彦(金沢21世紀美術館館長)

【申し込み・お問い合わせ先】 公益財団法人 岐阜県教育文化財団 〒502-0841 岐阜市学園町3-42 ぎふ清流文化プラザ1F TEL.058-233-8161 FAX.058-233-5811 Email gecf@g-kyoubun.or.jp

ぎふ美術展 公式ホームページ

ぎふ美術展

検索